

「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画（案）」におけるパブリックコメント結果概要について

1 パブリック・コメント実施の概要

(1) 意見募集した案件

伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画（案）

(2) 意見募集方法

伊勢市公報、伊勢市ホームページ、伊勢市広報誌、伊勢市行政チャンネル文字放送、伊勢市長定例記者会見

(3) 計画（案）の閲覧場所（65 箇所）

- ・市民ホール（本館 1 階）
- ・こども課（東館 2 階）
- ・教育総務課（小俣総合支所 2 階）
- ・総務課（本館 2 階）
- ・総合支所地域振興課（二見・小俣・御園）
- ・支所（神社・大湊・宮本・浜郷・豊浜・北浜・城田・四郷・沼木）
- ・伊勢図書館
- ・小俣図書館
- ・生涯学習センターいせトピア
- ・二見生涯学習センター
- ・各公私立保育所 28 箇所
- ・各公私立幼稚園 13 箇所
- ・各公私立認定こども園 4 箇所

(4) 意見提出の対象者

伊勢市内に在住、通勤又は通学している人など

(5) 意見募集の期間

平成 26 年 10 月 1 日（水）から平成 26 年 10 月 31 日（金）

2 意見募集の結果

意見数 21 人（34 件）

【内訳】 提出方法別（窓口提出 15 人（25 件）、ファックス 4 人（7 件）、Eメール 2 人（2 件））

3 意見内容及び市の考え

提出者	No.	寄せられたご意見	市の考え
A	1	<p>子どもが大世古保育所年少クラスで在園中です。</p> <p>公立保育所は行事など親の負担が少なく働く親にとってありがたい部分も多々あります。安心して預けられる大世古保育所で、卒園（修了）まで保育していただきたいです。友だちとの関係も考えると、大世古保育所で修了させてあげたいです。</p>	<p>公立施設を廃止する際には在園児の保育環境にも配慮し、ある程度の一定期間を設ける予定です。</p>
B	2	<p>御菌第二保育園に子どもを預けています。現在、御菌第二保育園は年少から年長までは人数の定員を割っているが、2歳児、1歳児クラスでは待機児童が出ています。</p> <p>今回の計画案で、民間に委ねる事ができるのであれば良いが、もし廃止になった場合や大世古保育所と統合して民間に委ねた場合、ますます1歳児、2歳児クラスに入る事の出来ない待機児童がでるのでとは懸念しています。</p> <p>御菌第二保育園に限らず、概ね他の保育園でも入所することが出来ず、困っている保護者の方がいます。待機児童が生じることのないことが前提であるなら、待機児童が出やすい2歳児、1歳児クラスについて考慮したうえで整備計画を進めて欲しい。</p>	<p>御菌第二保育園につきましては現在地もしくは周辺地において民間に委ねることとしております。その際には近距離にある大世古保育所も含めて検討することとしております。</p> <p>施設の民間への移譲・運営委託等にあたり適切な事業者がない場合は、当面公立施設として存続していくこととしており、待機児童が生じることがないことを前提として適切に整備を進めてまいります。</p>
C	3	<p>公立の幼稚園・保育所と私立の幼稚園・保育所で費用やサービスの違いが生じてこないか。また、公立が少なくなることによって、住民や家庭に不利や負担がかかることにつながらないか。</p>	<p>整理・統合を行うにあたっては就学前の教育・保育の質を低下させないこと、待機児童が生じることがないことを前提としておりますことから、利用者に不利や負担がかかることのないよう適切に整備を進めてまいります。</p>
	4	<p>絶対的に幼稚園・保育所の数が減少するので、自宅に近い・職場に近いなどの、利用者の利便性に支障が出てくるのではないか。</p>	<p>公立施設の整理・統合を行った結果、自宅や職場から遠くなる、近くなるなどの距離的な変化は生じてくると思われませんが、社会性や自立の基礎を育むための集団の規模を維持しつつ、民間に委ねられるところは委ね、多様なニーズへ対応できる拠点的な施設として公立施設の整備をしていくことにより、利用者の利便性に応えてまいります。</p>

C	5	今まで以上に、兄弟姉妹が違う幼稚園や保育所に通うことが出てこないか。	整理・統合を行うにあたっては就学前の教育・保育の質を低下させないこと、待機児童が生じることがないことを前提としておりますことから、ご意見のような事態が生じないよう適切に整備を進めてまいります。
	6	津波対策に関しては、万全を期して欲しい。	津波等防災対策に関しては差し迫った課題と捉えておりますので、防災の観点も踏まえ、計画的に施設を整備してまいります。
D	7	<p>現在、城田幼稚園に在学しております。先生方の人員確保や園児も大変少ない状況です。</p> <p>園児の人数低下による廃園計画もあるようですが、城田幼稚園は、伊勢では土地も高い所にありますし、子どもの安全面を考えますと残すべき幼稚園であると思います。施設自体もまだ新しく、利用できます。</p> <p>ただ現在の多くの一般家庭から考えますと、主婦も働きに出る事が多く、2年保育を利用されるよりも、保育所等、早い段階での保育を希望される事が多いようです。子どもにとっても学習となってきますので、早めの学習、保育を希望される事が多いでしょう。</p> <p>しかし、城田幼稚園は小学校併設の幼稚園でもありますし、市立の幼稚園でありますので、市の協力にて学区制にする（教室を増やし）、3年保育にするなど、存続への協力をして頂きたい。城田地区は田畑も多く、住宅地が増えているのも事実。安全面、今後の城田を考えると伊勢市として改善すべき点はたくさんあるのではないのでしょうか？</p> <p>私としては、高台の比較的安全な幼稚園も残すべきだと思います。</p>	<p>城田幼稚園で3年保育を実施するためには、施設改修が必要になります。整備にあたっては、整理統合を基本的な方針としておりますため、新たな改修・増床は考えておりません。教育の質を確保するための集団の最低人数については、引き続き考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。</p> <p>また、学区制をしくことは考えておりません。通園区域を指定することで、一定の区域から園児を集めることができるという考え方もありますが、現状では、たいへん広域となり、通園の利便性が低下することも考えられます。公私立保育所、私立幼稚園は通園区域がないことから、公立幼稚園を選択しにくい要因となることも考えられます。</p> <p>城田幼稚園は高台にありますが、様々な側面から総合的に考え、廃止することといたしました。整理統合という基本的方針のもと市全体の公立施設の配置を私立との共存、子育て支援等総合的に考えて整備計画を立てています。</p>
E	8	<p>神社幼稚園を3年保育にしてほしい。現在、5歳の子が在園中だが、下の子ども達も利用させたい。神社小学校に避難できるので、小学校が合併されるまでは安全面でも安心だと思う。</p>	<p>神社幼稚園で3年保育を実施するためには、施設改修が必要になります。整備にあたっては、整理統合を基本的な方針としておりますため、新たな改修・増床は考えておりません。教育の質を確保するための集団の最低人数については、引き続き考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。</p>

F	9	<p>今の日本では、何でも民間に任せばうまくいく、何でも金儲けの対象にしてしまう、社会保障は切り捨て（特に安倍首相になってから、自立自助が強調され、公助が後景に追いやられている）、教育費は安上がりにするという考えが強まっている。</p> <p>教育（保育も含む）については、テストの点数が強調され、国際競争力のある人間の育成が強調され、教育基本法に規定されている義務教育無償の原則は無視され、全人格の発達を目的とした教育は無視されている。そのため、少しでも教育費を削り、安上がりな教育が目指されている。</p> <p>教育は本来お金がかかるものである。教育ほど金儲けになじまないものはない。だから欧米各国では学級定員は20～30人が普通になっているが、日本では35人学級さえまだ完全には実現されていない。ヨーロッパでは高等教育さえ無償になっているのに、日本では高い授業料に利子付きの奨学金しかない。資源のない日本は人材が資源である。その人材に投資しないで日本の未来はない。</p> <p>「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画案」も、日本の風潮に沿った安上がりの教育・保育の風潮にそのまま乗ったものであるとしかいいようがない。しかも保育所を3つのランクに分けるようなやり方をすれば、明らかに保育の質を金で買うことになってしまう。</p> <p>どの子ども一様に大事にされ、平等で質の高い教育や保育を受けることを最優先にするような施設整備をやってほしい。このような計画案に同意することはできない。</p>	<p>公立施設の整備・整理にあたっては、少子化の現状を踏まえた効率的な施設運営、民間施設の充足率の状況等から、民間にできることは民間に委ねることを基本とするとともに、公立として担う役割を明確にし、最少数の施設を存続させていくという考えです。その前提としては就学前の教育・保育の質を低下させないこと、待機児童が生じることのないこととしております。</p> <p>そのため、施設の民間への移譲・運営委託等にあたっては、コスト面のみを基準とするのではなく、保育・教育の提供内容や運営実績についても選定基準としたうえで、児童への影響やサービスの低下が生じることのないよう譲渡・委託条件を慎重に定め、公募により選定していくことを考えております。</p>
---	---	--	---

G	10	<p>この計画案に反対します。公立保育所は伊勢市の保育の質を守る大切な要です。その公立保育所を減らすことは保育の質を落とすことにもなりかねません。</p> <p>子どもの数が減っていくことを考えてのことだと思いますが、これ以上少子化が進めば伊勢市の将来はまっ暗です。もっと積極的に少子化対策を考えなければなりません。その一つとして、身近に保育所があるという事が大事だと思います。民間にという計画ですが、民間ではどんなに努力をしても限界があります。</p> <p>特別支援教育の中心的役割を公立でとありますが、地域に公立保育所がなければ遠くの公立まで行かなければなりません。親は遠くまで送っていかねばなりません。弱者ほど居住地の近くでと思います。</p>	<p>公立保育所としては延長・休日保育や一時保育などの多様な保育ニーズへの対応、及び子育て支援センターの併設などにより保育環境の充実を図ることとし、地域における拠点としての役割を担うものとして考えています。</p> <p>私立保育所といたしましては市内での保育所運営の実績がございますことから、民営となることが保育の質の低下に繋がるとは捉えておりません。</p> <p>なお、特別支援教育につきましては中心的な役割としての公立施設の位置付けはありますが、公立での取り組みを私立においても広げ、市全体で特別支援教育の充実を図るということを目的としております。</p>
H	11	<p>I. はじめに で、</p> <p>「生涯にわたる人格形成の基礎を培うことのできる教育・保育環境の実現を最重要課題として検討を行い、提言をいただいた」とあります。</p> <p>この精神に則るなら、市営の幼稚園・保育園を存続し、保護者が安心して預けられる内容にすべきではないでしょうか？</p> <p>「民間にできることは民間に」ではなく、「市立でしかできないことを、市で責任をもって」やってほしい。</p> <p>民間の園を否定するわけではありませんが、株式会社等の経営の園では、利潤に結びつけざるを得ない。そのために、保育者の給与を低くする、1人当たりの担当子ども数を多くする、給食は「仕出し弁当」、狭い園庭、などの劣悪な園が全国的に増えています。そんな中で、子どもの死亡事故が多発しています。</p> <p>なお、「教育の質を確保するために15人を下回った幼稚園を整理する」とは、「少人数では切磋琢磨できないという誤解」にもとづくものだと思います。</p> <p>教育の質の確保には、まず、安心</p>	<p>I のはじめにに関するご意見につきましては、認可保育所に関して、公立・民間ともに、国が定める設置基準や保育所保育指針に基づき保育が行われておりますことから、同じ基準で運営がされております。そのため、民営となることが保育の質の低下に繋がるとは捉えておりません。</p> <p>集団の最低人数につきましては、集団の規模が小さいと職員と児童のつながりが深くなる反面、就学前における集団としての力や社会性を身につけるといった環境から一定の規模が必要であると考え、15人を下回る際には整理をするものとしております。</p> <p>II の公立施設のあり方に関するご意見につきましては、少子化に伴い園児数が減少している中、人口分布、保育ニーズ、施設の態様、民間施設を含めた既存施設の配置状況等を勘案したうえで公立施設の整理・統合により市全体の適正配置を行い、多機能化に対応できる施設を各地域において整備するものです。III、2の各施設の整備計画に関するご意見とも関連いたしますが、公立施設の整理・統合を行った結果、自宅や職場から遠くなる、近くなるなどの距離的な変化は生じてくると思われませんが、社会性や自立の基礎を育むための集団の規模を維持しつつ、民間に委ねられ</p>

	<p>して保育に専念できる正規雇用の保育者を確保し、保育者一人当たりの子どもの数を少なくすることが大切ではないでしょうか？</p> <p>「保育とは、子どもを寝かしつけてミルクを飲ませ、おむつを替えるだけではない。子どもと子どもを結びつけて子どもの社会を形成する手助けをすることも大事な役割」と、ある保育者が語っていました。保育園・幼稚園は、小中学校と同じく、大事な教育の場であることを忘れてはならないと思います。</p> <p>Ⅱ. 公立施設のあり方について</p> <p>④公立施設の整備・整理方針</p> <p>少子化に伴い園児数が減少していることと、老朽化がどう結びつくのでしょうか？</p> <p>公立施設を充実することは、市民に責任を負う市として安心安全な子育て環境をつくることであり、少子化対策として有効だと思います。</p> <p>Ⅲ. 2 各施設の整備計画</p> <p>②浜郷③大世古は、民営化や廃止後民営化</p> <p>⑥五峰⑦高城は、二見に合併</p> <p>⑧あけぼの園⑨しらとり園は、民営化</p> <p>⑫御菌第二は、廃止または民営化</p> <p>⑮明野は、将来的には民営化したい</p> <p>⑯神社⑰城田⑱休園中の幼稚園は、廃止</p> <p>以上を見ると、モデル園・中心園は存続するが、それ以外の園は合併・民営化・廃止などで、親はより遠方に子どもを送迎することにもなります。子どもは地域に住み続けているのに、少子化・財政難・「民活」を理由に、幼稚園・保育園が地域から消えていくこととなり、地域から子どもの声が聞かれなくなります。子育て支援とはかけ離れた施策ではないでしょうか？</p> <p>いま一度、各地域の実情や保護者・住民の要望を聞き取り、一律に合併・民営化・廃止を決めてしまわ</p>	<p>るところは委ね、多様なニーズへ対応できる拠点的な施設として公立施設の整備をしていくことにより、公立としての役割を明確にし、利用者の利便性に応じてまいりたいと考えます。</p>
--	--	--

		<p>ず、細やかな施策をお願いします。</p> <p>「子ども医療費窓口無料の中学校卒業までの拡充」を実現した群馬県では、知事が「子ども医療費無償化は、活力ある豊かな社会を築くための未来への投資である」と語りました。保育園・幼稚園の充実、子どもの医療費拡充と同様に、子育て支援、また、少子化の緩和や、市民の流出を食い止めることにも繋がると思います。これからの伊勢市を担う子どもの教育環境を豊かにしていただきたいと願います。</p>	
I	12	<p>公立幼稚園を市は守るのはわかるが、私達が支払っている市民の税金から出ているものなので少人数である保育所、幼稚園等はなくしていいのではないかと思う。十年内で廃止をするという計画では本当になるのか、と不安になる。ここ数年中に決定すべきことを計画していただきたい。</p>	<p>少人数である保育所・幼稚園につきましては、各施設に記載の整備内容のほか、教育の質を確保するための集団の最低人数を考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。</p> <p>施設の整備・整理につきましては、それぞれ平行して着手し、地域や利用者の皆さんの理解を得ながら進めていくこととなります。また、在園児童の教育・保育を保障しながら移行期間も設けていく必要がございます。そのようなことから、実施時期が流動的であるため、個々の完了時期は明記せず10年間の計画期間内で実施することとしております。</p>
J	13	<p>築30年以上の古い建物や海辺の建物について、10年以内に何かが起こると危ないので早急に対応すべきだと思う。</p>	<p>老朽化及び津波等の防災対策については差し迫った課題であると捉えておりますことから、私立との共存、子育て支援等の充実を踏まえて計画的に整備を行うこととしております。</p>
	14	<p>公立の施設、私立の施設に通うとも、同じ伊勢市の子どもたちなので同じ税金を払っているのに格差があっては、いけないと思う。</p>	<p>施設整備計画案においては、公立の担う役割を明確にし拠点として整備するとともに、民間に委ねられるものについては移譲・運営委託を行うこととしております。</p> <p>整理・統合を行うにあたっては就学前の教育・保育の質を低下させないこと、待機児童が生じることがないことを前提としておりますことから、利用者には不利や負担がかかることのないよう適切に整備を進めてまいります。</p>
K	15	<p>整備計画の実施にあたっては、その時点で環境状況変化もあるので、計画があるからと言わず、費用対効果、必要性等良く検討して欲しい。</p>	<p>計画の実施にあたっては、平成27年4月に始まります子ども・子育て支援新制度を受けての市内の教育・保育施設の動向や、将来人口推計の変化による影響も考え、適宜計画を見直し、ニーズに合った整備を進めてまいります。</p>

	16	公立幼稚園の10年計画は漠然としている。環境変化もあるので、具体的に3年先、5年先の道筋が必要。(15人を切ったら翌年には廃園)	各施設ごとに記載の整備計画に加え、集団の最低人数である15人を下回った幼稚園については整理することとしております。
L	17	私立の幼稚園でも同じように機能しているし、施設や内容も充実しているので公立を減らし、私立にまかせてもらいたい。	施設整備計画案においては、公立の担う役割を明確にし拠点として整備するとともに、民間に委ねられるものについては移譲・運営委託を行うこととしております。
	18	10年という期間は長すぎる。	施設の整備・整理につきましては、それぞれ平行して着手し、地域や利用者の皆さんの理解を得ながら進めていくこととなります。また、在園児童の教育・保育を保障しながら移行期間も設けていく必要がございます。そのようなことから、実施時期が流動的であるため、個々の完了時期は明記せず10年間の計画期間内で実施することとしております。
M	19	人数の少ない公立幼稚園は税金の無駄使いだと思います。10年間もかけるのではなく、即廃止にすべきです。すぐ私立幼稚園にゆだねられる園はなくした方が良くと思います。 なくせないなら、4、5歳児を異年齢クラスにして、職員数を少なくして、私立幼稚園の行っている特別支援や延長保育の補助金に回してもらいたいです。	少人数である保育所・幼稚園につきましては、各施設に記載の整備内容のほか、教育の質を確保するための集団の最低人数を考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。 補助金の内容については計画案で定めておりませんが、ご意見につきましては伊勢市の教育・保育の充実を図るうえで参考とさせていただきます。
N	20	公立で少人数のところは、統合するか私立にゆだねたらいいと思う。税金の無駄使いだと思う。	少人数である保育所・幼稚園につきましては、各施設に記載の整備内容のほか、教育の質を確保するための集団の最低人数を考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。
O	21	私立に特別支援の補助金対策をしてほしい。特別支援児が私立にたくさん通っています。公立だけ補助金が出るので、平等に考えてほしいと思います。	補助金の内容については計画案で定めておりませんが、ご意見につきましては伊勢市の教育・保育の充実を図るうえで参考とさせていただきます。
	22	公立幼稚園は、人数が少ないのに先生が何人かいて税金を使用している現状を疑問に思います。公立幼稚園は人数集めをして残そうとせずに私立幼稚園にゆだねて、廃止してもよいと思います。	少人数である保育所・幼稚園につきましては、各施設に記載の整備内容のほか、教育の質を確保するための集団の最低人数を考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。

P	23	伊勢市立幼保の特別支援児には加配がついていて、加配教師に対して補助金が出ているようだが、私立には補助金が出ていない。税金は公立、私立公平に使われるべきなので私立にも特別支援の先生に対して補助金を出してほしいです。	補助金の内容については計画案で定めておりませんが、ご意見につきましては伊勢市の教育・保育の充実を図るうえで参考とさせていただきます。
	24	人数の少ない神社幼稚園は民間園に任せるべきです。園児数に対して先生の数が多く、人件費のむだ使いです。税金のむだ使いです。	神社幼稚園につきましては園児数が減少傾向にあり、また津波浸水による影響を強く受ける立地にあることから周辺の施設に幼児教育を委ね、廃止することとしております。教育の質を確保するための集団の最低人数については、引き続き考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。
Q	25	私立幼稚園にも、特別支援補助金が必要だと思う。私立幼稚園でも、特別支援研修や特別支援に積極的に取り組んでいることを、もっと知っていただきたいです。	補助金の内容については計画案で定めておりませんが、ご意見につきましては伊勢市の教育・保育の充実を図るうえで参考とさせていただきます。
	26	人数の少ない公立施設は、私立施設に任せていくことも良いと思います。公立と私立でも、している保育内容に差はないと思います。	少人数である保育所・幼稚園につきましては、各施設に記載の整備内容のほか、教育の質を確保するための集団の最低人数を考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。
R	27	施設整備計画に10年もかけるのは長いと思う。子どもの状況はよく分かっていることなので税金を無駄にしないよう早く実施すべきである。	施設の整備・整理につきましては、それぞれ平行して着手し、地域や利用者の皆さんの理解を得ながら進めていくこととなります。また、在園児童の教育・保育を保障しながら移行期間も設けていく必要がございます。そのようなことから、実施時期が流動的であるため、個々の完了時期は明記せず10年間の計画期間内で実施することとしております。
	28	人数の少ない園を運営するよりも障がいのある子どもたちを支援する施設にしてもらいたい。	公立施設のあり方といたしましては、特別支援教育に積極的に取り組み、支援が必要な幼児への適切な支援や、子どもの発育に不安や悩みを抱く保護者へのアドバイスを行うとともに、特別支援教育に関する職員の資質向上・意識向上や知識・経験を持った人材の育成・配置を進め、特別支援教育の中心的役割を担うこととしております。また、公立での取り組みを私立においても広げ、市全体で特別支援教育の充実を図るということを目的としております。

S	29	公立での定員に満たない保育を任せても子どもは集団教育の意味がないので、公立保育を廃止して私立の経営に任せる方向にしていく方が良いと思う。	少人数である保育所・幼稚園につきましては、各施設に記載の整備内容のほか、教育の質を確保するための集団の最低人数を考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。
	30	地震・津波災害が心配されている現状から考えて、危険な立地条件の園は廃園し、小学校・中学校統合のように、安全な立地条件の場所に統合していくべきだと思う。	津波等の防災対策については差し迫った課題であると捉えておりますことから、私立との共存、子育て支援等の充実を踏まえて計画的に整備を行うこととしております。
T	31	公立は廃止して、私立にまかせるべき。少人数では、保育ができません。	少人数である保育所・幼稚園につきましては、各施設に記載の整備内容のほか、教育の質を確保するための集団の最低人数を考慮に入れて施設の整理統合を考えていくことといたします。
	32	特別支援への対策を、私立の方にも使って欲しい。補助金は、平等に分配して欲しい。	補助金の内容については計画案で定めておりませんが、ご意見につきましては伊勢市の教育・保育の充実を図るうえで参考とさせていただきます。
	33	10年先の状況は、変わっていると思うので今すぐに対応して欲しい。	施設の整備・整理につきましては、それぞれ平行して着手し、地域や利用者の皆さんの理解を得ながら進めていくこととなります。また、在園児童の教育・保育を保障しながら移行期間も設けていく必要がございます。そのようなことから、実施時期が流動的であるため、個々の完了時期は明記せず10年間の計画期間内で実施することとしております。
U	34	<p>公立施設整備計画に伴い、今後公立幼稚園が3園になってしまう事は、非常に残念に思います。残された幼稚園は、今後、より子ども達の笑顔が増え、子ども一人一人を大切に、心身共に豊かな人間性を育てる為に、今以上に充実した、魅力ある施設にして欲しいと望んでいます。</p> <p>現在当園（小俣幼稚園）では、週2回の配送弁当による給食の実施をしていますが、冷めたご飯での提供が現状です。給食センターという選択もありますが、保護者一同としては、是非、園内に給食施設を設立して欲しいと願っています。園内にそのような施設があれば、園で子ども達が収穫した季節の野菜などを使った給食として提供することもでき、</p>	<p>計画案において、小俣幼稚園とゆりかご園は統合による認定こども園化も視野に入れ、公立施設として存続させていくとありますことから、認定こども園として整備する際には、給食の提供方法について検討いたします。</p> <p>また、公立幼稚園の充実についてのご意見につきましては、今後伊勢市の幼児教育の充実を図るうえで参考とさせていただきます。</p>

	<p>又、食に対する感謝の心や食べ物について考える習慣を楽しく身に付ける為の「食育」にも繋がります。</p> <p>子ども達の為に小、中学校と同様の温かい給食を提供してあげたいと心から願っています。よろしく願います。</p>	
--	--	--

4 意見募集結果による修正の有無

修正なし